

## 第10回 退院支援・医療介護連携部会報告書

日 時	平成30年1月25日(木) 19:00~20:00	
場 所	高松市医師会館 2階大会議室	
出席者	■ 吉澤委員長      ■ 松本部長      ■ 青木委員      ■ 片山委員 ■ 木村委員      ■ 多田委員      ■ 田中委員      ■ 辻委員 ■ 永岡委員      ■ 坂東委員      ■ 古川委員      ■ 三宅委員 ■ 和田委員	13名
事務局	高松市医師会 伊藤副会長、高松市医師会事務局 山地係長、真鍋氏 地域包括支援センター 蓮井副センター長 長寿福祉課 地域包括ケア推進室 徳重室長、香川室長補佐、西村	7名
議 題	1 第4回退院調整・地域連携打ち合わせ会 2 「高松市入退院支援ルール(仮称)」の作成について 3 「多職種連携のためのSNSサービスの導入)」について	
結 果	<p><b>1 第4回退院調整・地域連携打ち合わせ会</b></p> <p>◆開催日時:平成30年3月11日(日)9時30分~12時30分</p> <p>◆会場:高松市医師会館 5階ホール</p> <p>◆参加人数:100人 ◆参加案内期間:2月1日(木)~2月28日(水)</p> <p>◆プログラム1:【パネルディスカッション】</p> <p>テーマ:在宅医療と救急医療(案)</p> <p>○ご意見</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・人選をできるだけ早くして、それぞれの経験から、全体で2つくらい事例を出す             <ul style="list-style-type: none"> <li>①在宅看取りの予定だったのに、救急車を呼んでしまった事例</li> <li>②急変があったけれど、救急車を呼ばずに対応した事例</li> </ul> </li> <li>・終末期医療の処置について希望しない人はどうするのか</li> <li>・在宅医療の緊急時ルール</li> <li>・無駄な搬送というのは、何をもちて無駄というのか</li> <li>・施設もあったらいいが、テーマが広がり、時間が足りなくなるのでは</li> <li>・救急車を呼ぶ前に訪問看護を呼ぶことも考えられる</li> </ul> <p>メンバー コーディネーター:在宅医(三宅敬二郎先生)</p> <p>パネリスト:救急隊員、訪問看護師、ケアマネジャー、救急病院、施設</p> <p>→パネリストは各職種で出していただく</p> <p>検討時間:9時40分~11時10分頃(約1時間30分間)</p> <p>プログラム2:【診療報酬・介護報酬改定 同時改訂の概要】</p> <p>時間:11時20分~12時20分(診療報酬30分、介護報酬30分)</p> <p><b>2 「高松市入退院支援ルール(仮称)」の作成について</b></p> <p>◆入退院支援ルールの構成</p>	

①入退院支援ルール ②連携、対応窓口 ③参考様式

◆今後の予定

①入退院支援ルールの素案作成 2月15日までに作成

②連携、対応窓口の情報収集 2月15日までに、情報収集する項目を決める

③参考様式の作成 3月の診療報酬・介護報酬の改定で提示される様式も考慮する

・H30年度中にできればいい(H30. 5 GW明けくらい)

◆ワーキング・グループメンバー

青木委員、永岡委員、辻委員、和田委員、木村委員、坂東委員

平成30年度中の作成を目指す

**3 「多職種連携のためのSNSサービスの導入)」について**

◆メディカルケアステーション(無料)の導入について

試行:三宅先生、三宅先生と連携している方々

・在宅医療ネットワークの中の標準ツールとして使うのはどうか

◆平成30年度のスケジュール

・部会でご意見をもらい、来年度4月からの計画を立てていきたい

・H30年以降の基金によって、コーディネーター養成研修会を続けるか決める

・在宅医療支援センターを設置する時期が決まれば、医師会のネットワーク募集時期もそれに合わせて決まる

・入退院支援ルールなど、県と連携してするのは難しいのか